

種の概要

陸奥湾から九州に分布。潮間帯から浅海域の砂泥底に生息する。殻長1cm、殻高6mm程度。殻は楕円形で薄質、白色半透明、やや膨らむ。殻表は平滑で光沢がある。殻頂は前傾する。軟体部は白色の外套膜と多数の橙色の突起があり、一見カニのようである。

主要な選定理由

人為性			生息環境の特殊性		学術性		
個体数激減	分布域に影響	営利目的捕獲	特殊生息環境	地域的孤立	分布が極限	分布の限界	希少
			○	○			○

県内分布

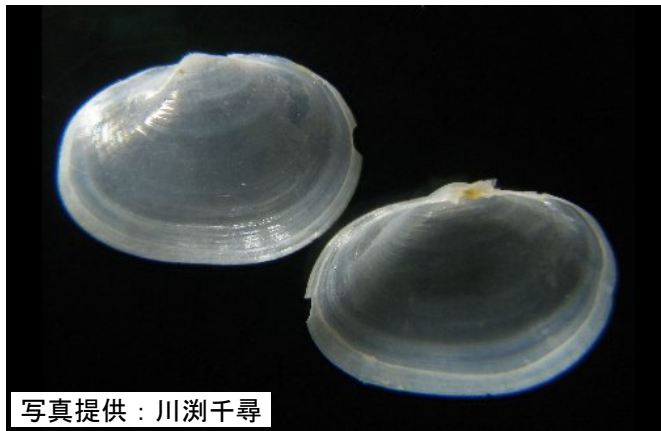
洲本市、淡路市

県内における生息状況及びその他特記事項

新規追加種。淡路島北部1箇所と中部3箇所の河口付近の干潟転石裏及び内湾最奥部の海藻に被われた泥底で確認されているが、生息数は非常に少ない。また、2箇所の産地においては、同所的にオウギウロコガイ(貝類Aランク)が見られた。

保護上の留意点

比較的潮通しの良い内湾の礫の多い底床が砂泥干潟で、底床に浮き礫や半ば埋もれた礫岩が必要である。河口や内湾は護岸や埋め立てが頻繁に行われる場所であり、干潟環境を消失させないように配慮する。



写真提供：川渕千尋



写真提供：川渕千尋

【執筆者】 川渕千尋